



子宮筋腫

子宮筋腫とは？

子宮筋腫は出産適齢期の女性に最もよくみられる、良性の（がんではない）腫瘍です。子宮（子宮体部）の筋肉壁の中やその周囲で成長し、単一の腫瘍として成長することもあれば、複数の腫瘍ができることもあります。子宮筋腫はリンゴの種のように小さいものから、グレープフルーツのように大きくなるものまであります。子宮筋腫は時間とともに大きくなることもあります。子宮筋腫は別の医学用語で平滑筋腫と呼ばれることもあり、または単に「筋腫」と呼ばれることもあります。

子宮筋腫の症状は？

子宮筋腫は、必ずしも症状を引き起こすとは限りません。子宮筋腫の症状がある人は、子宮筋腫を持ちながら生活するのがつらいと感じるかもしれません。子宮筋腫の症状には、以下のようなものがあります：

- **月経（生理）の変化**
 - 生理中の出血量が多く、1時間ごと、またはもっと頻繁にタンポンやパッドを取り替えないといけなかったり、出血が7日以上続いたりする
 - 生理と生理の間にも、膣から出血する
 - 大量で不規則な出血は、貧血（赤血球数の低下）を引き起こす可能性がある
 - 重度の生理痛
- **膨満感または圧迫感**
 - 下腹部に「膨満感」を感じる
 - 尿意を感じる回数が増える、または尿が出にくくなる
- **痛み**
 - セックス中の痛み
 - お腹や腰の痛み
- **生殖器系への影響**
 - 不妊症
 - 流産
 - 早産

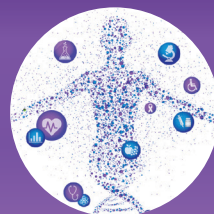
子宮筋腫の原因は？

何が子宮筋腫の原因なのか、はっきりしたことは誰にもわかりません。研究者たちは、複数の要因が関係していると考えています。これらの要因には、以下のようなものが含まれます：

- **年齢。**子宮筋腫のリスクは年齢とともに増加し、50歳前後でピークに達します。閉経後に筋腫が縮小する女性もいます
- **家族の病歴または遺伝。**家族（母親、姉妹、叔母など）に子宮筋腫の人がいると、リスクが高まります。
- **人種／民族的起源。**子宮筋腫はアジア系、ヒスパニック系、白人よりも、アフリカ系アメリカ人に2～3倍多く見られます。また、アフリカ系アメリカ人は子宮筋腫になる年齢が若く、筋腫の成長も早い傾向があります。
- **体重。**体重が重かったり肥満の女性は、子宮筋腫のリスクが高まります。
- **ホルモン。**子宮筋腫は、エストロゲンとプロゲステロンというホルモンのレベルに影響されることがあります。
- **高血圧は、**子宮筋腫のリスクを高めます。
- **食事要因。**（例：ビタミンDの欠乏、豆乳を摂取する。）

子宮筋腫があるかどうかは、どうすればわかりますか？

症状がなければ、子宮筋腫があるかどうか、自分自身ではわからないかもしれません。場合によっては、医療従事者が定期的な内診検査で子宮筋腫を見つけることもあります。子宮筋腫の画像を見るために、医師が画像検査を指示することもあります。手術（子宮鏡検査）で子宮筋腫の超音波診断を確認し、筋腫の位置などの追加情報を知ることができます。



子宮筋腫は、どのように治療するのですか？

症状があれば、それを改善するための治療法があります。筋腫を治療する最良の方法については、医療提供者と相談してください。医療提供者は、さまざまな要素を検討します：

- あなたの症状と、その重度
- 将来、妊娠を望むかどうか
- 筋腫の大きさ
- 筋腫の位置
- あなたの年齢と、閉経年齢にどのくらい近い

子宮筋腫があっても症状がなければ、医学的介入は必要ないかもしれません。医師は定期的な検査で筋腫が大きくなっているかどうかを確認し、あなたに新たな症状や症状悪化に気づいたかどうかを尋ねることができます。筋腫の成長や変化を確認するために、医師から画像検査を勧められることがあります。

以下のような症状に対処するのに薬を服用すべきかどうか、かかりつけの医師に相談してください：

- 大量出血による貧血（赤血球数の低下）を治療または予防するための、鉄剤。
- 便秘を改善するための、便軟化剤。
- 子宮筋腫による痛みを和らげるための、市販薬（OTC）または処方鎮痛薬。

医師は出血を抑えるために、ホルモン剤による内科的治療を勧めることがあります。これには、以下が含まれます：

- ピル、パッチ、膣避妊リングなどの避妊薬や避妊製品
- プロゲステロンの錠剤または注射
- ホルモン（プロゲステロン）入り子宮内避妊具（IUD）
- 子宮筋腫の閉経前女性に伴う生理中の多量出血を管理するために承認された、新薬。

治療を開始または中止する前に、リスク、利点、副作用についてかかりつけの医師に相談しましょう。



子宮筋腫による症状が中等度または重度の場合、医師は前述のような内科的治療や外科的処置を勧めることがあります。手術の選択肢には、以下のようなものがあります：

- **子宮筋腫核出術** – 子宮の健康な組織を切除せずに筋腫を取り除く手術。
- **子宮全摘出術** – 子宮全体を摘出する手術。
- **筋腫焼灼術** – 正常な子宮組織への損傷を避けながら、エネルギーを使って筋腫組織を破壊する手術。筋腫は摘出されませんが、縮小します。
- **子宮筋腫塞栓術（UFE）または子宮動脈塞栓術（UAE）** – 子宮筋腫に血液を供給する血管に、細いチューブを通します。その後、小さなプラスチックやゲルの粒子を血管に注入します。これにより、筋腫への血液供給が遮断され、筋腫が縮小します。

医療提供者とすべての治療法の選択肢とそのリスクと利点について、十分に話し合ってください。医療提供者はあなたの質問にすべてお答えし、どの治療法があなたに適しているかを一緒に決めることができます。

このファクトシートは、FDA 婦人保健部によって作成されました。この情報は教育目的であり、すべてを網羅するものではなく、医療提供者と相談する代わりとして使用することは、しないでください。

子宮筋腫についてもっと知りたい方は、こちらをご覧ください：